

# 委員会活動報告書

委員長名 大木幸子

<b>【委員会名】</b> 教育課程委員会	
<b>【メンバー】</b> ◎大木 幸子（杏林大学）、*岩本 里織（徳島大学）、*¥桑原 ゆみ（札幌医科大学）、 鈴木 美和（淑徳大学）、*下山田 鮎美（東北福祉大学）、*滝澤 寛子（京都学園大学）、 *平野 美千代（北海道大学） <p style="text-align: right;">50 音順、◎委員長、*役員以外の委員、¥会計担当、（ ）所属名</p>	
<b>【活動方針】</b> 1. 公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討結果を公表・周知する。 2. 看護師教育における地域看護学教育に関する検討結果を周知する。	
<b>2018 年度</b>	
<b>達成目標</b>	1. 母子保健活動における公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討する。 2. 母子保健活動における公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討結果の公表・周知を図る。 3. H28 年度に検討した看護師教育における地域看護学教育に関する検討結果について周知をはかる。
<b>活動報告</b>	1. 委員会開催 委員会は 5 回開催し、以下の検討を行った。 ・母子保健活動における公衆衛生看護学の技術の体系化について検討した。 ・夏季研修についての企画と評価について検討した。  2. 母子保健活動における公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法についての検討 ① 保健師教育モデル・コア・カリキュラムを踏まえ、平成 29 年度の検討内容の精緻化と体系化を行った。 ② 上記の技術に関する基礎教育における教育方法についての検討を行った。  3. 平成 28 年度に検討した看護師教育における地域看護学教育に関する検討結果についての周知 ① 全国保健師教育機関協議会のホームページにおいて上記の検討結果を公表し、周知を図った。  4. 夏季研修会分科会の担当 ① 委員会で検討した技術体系について夏季研修にて会員校との意見交換を行った。